



福山城築城400年記念事業
福山市鞆の浦歴史民俗資料館 特別展
「沼名前神社、福山藩ゆかりの宝物」関連行事
(全席)

豊臣秀吉ゆかりと

伝わる元は移動式の

歴史ある能舞台

福山城築城四百年を祝し

大島家親子三代が舞う

水野家ゆかりの 名舞台に舞う

と き 2022年(令和4年)

11月18日(金)

13時30分～(開場12時50分)

とこ

沼名前神社能舞台

(国重要文化財)

雨天実施、荒天の場合は中止。
雨天時は、内容を一部変更する場合があります。

入場無料
要申込(往復はがき、裏面参照)



能「鞆浦」



狂言「伯母ヶ酒」

能 (新作能)

鞆浦 約50分

前シテ(翁)

大島政充

後シテ(須佐の神)

大島輝久

前ツレ(里の女)

大島衣忠

シテツレ(淀姫)

大島伊織

ワキ(神官)

岡 充

狂言

伯母ヶ酒 約25分

シテ(甥)

茂山 忠三郎

アト(伯母)

山口耕道

後見

山本善之

(終了予定 15時頃)

沼名前神社能舞台 鏡板復原イメージ



主催 福山市鞆の浦歴史民俗資料館(電話084-982-1121)
福山市鞆の浦歴史民俗資料館活動推進協議会、福山市
共催 福山市鞆の浦歴史民俗資料館友の会
助成 エネルギー文化・スポーツ財団
協力 沼名前神社、大島能楽堂



能「納浦」

沼名前神社能舞台(国重文)は、元々は豊臣秀吉が伏見城に設けた「組み立て式」の舞台と伝えられ、世にも珍しい国内唯一の移動式の舞台です。江戸時代に、伏見城取り壊わしの時、二代将軍・徳川秀忠から初代福山藩主・水野勝成が、伏見櫓などとともにこの歴史ある舞台を譲り受けました。そして、福山城内などで実際に組み立てて演能をしていましたが、万治年間(1658年～1661年)に軈で生まれた三代・水野勝貞が沼名前神社へ寄進し、その後、固定されました。以来この名舞台では、度々演能が行われました。

水野家ゆかりの名舞台で、地方では稀な新作能である「納浦」を27年振り(三度目)に演能します。日本有数の能舞台が軈に現存することから軈に因んだ新作能「納浦」(大島家、新作能の第一号)が大正6年(1917)に初演されています。この度は、芽出度く大島家親子三代が揃って舞います。

また、江戸時代にこの伝統ある能舞台で演じられた狂言師とゆかりのある役者(世襲名、五世)が、同じ舞台上に立ち、元気な笑いを振りまきます。

まさに福山城築城400年記念を寿ぐ好事業とし、古の歴史空間に包まれた中で、瀬戸内の真中の軈で華開いた雅な文化を堪能していただき、そして、日本的にみても奇跡的な歴史を有する港町・軈ならではの歴史文化を紹介する機会となれば幸いです。

「納浦」

風光明媚な納浦の景色を愛で、水野家と縁の深い沼名前神社に祭られている須佐之男命や淀姫の神々が国土泰平、萬民安穩を祈念し、荘厳な舞を舞い納めます。

主な出演者



大島 政 允
能楽シテ方喜多流職分
能大島家四代目
福山市在住



大島 輝 久
能楽シテ方喜多流職分
能大島家五代目
東京在住



大島 衣 恵
能楽シテ方喜多流職分
福山市在住



大島 伊 織
大島輝久の長男
中学2年生
東京在住



岡 充
能楽ワキ方高安流
神石高原町出身
京都市在住



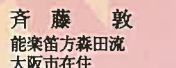
狂言「伯母ヶ酒」



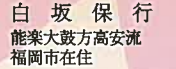
茂山 忠三郎
能楽狂言方大藏流
京都市在住



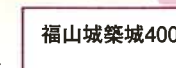
山口 耕道
能楽狂言方大藏流
丹波篠山市在住



斉藤 敦
能楽笛方森田流
大阪市在住



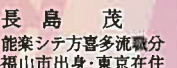
横山 幸彦
能楽小鼓方幸流
広島市在住



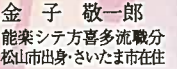
白坂 保行
能楽大鼓方高安流
福岡市在住



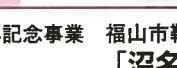
前川 光範
能楽太鼓方金春流
京都市在住



長島 茂
能楽シテ方喜多流職分
福山市出身・東京在住



狩野 了一
能楽シテ方喜多流職分
熊本市出身・東京在住



金子 敬一郎
能楽シテ方喜多流職分
松山市出身・さいたま市在住

狂言「伯母ヶ酒」

伯母が酒屋を営んでいる酒好きの甥は、度々伯母のもとへ行き酒をせがむが、中々呑ませてもらえません。今日もまた訪れ、色々口上手に伯母の酒の出来を褒めあげて酒にありつこうとしますが、只酒を振舞う訳にはいかないと断られます。一計を案じた甥は、最近この辺りに鬼が出ると言っており伯母を怖がらせ、自らが鬼に化けて…酒を手にする甥の演技が見どころです。狂言には、酒がテーマとなる曲が多く登場しますが、中でも本曲はその代表といえる演目です。

天保2年(1831)に沼名前神社能舞台で「小林卯之助」が演じたことを記した能番組が同神社へ現存します。この小林卯之助は茂山忠三郎家の初代のことであり、江戸時代に軈の能舞台を踏まれています。今回、出演される茂山忠三郎(五世)は、こうした歴史に縁のある役者です。

観客、申込方法

【無料】定員400人(築城400年に併せて400人とする)。往復はがきによる申し込み制とし、応募者多数の場合は抽選とする。往復はがきの往信用裏面へは「演能希望」と書き、申込者の住所・名前(一枚に2名までの申し込みが可)、連絡先(電話番号)を記入して、返信面の表に申込者(代表者)の住所・名前を記入ください。

【応募締切】11月4日(金)(必着)
抽選結果は11月5日(土)頃に発送予定。
抽選結果のお問い合わせには、応じられません。11月10日(木)までに、はがきが届かない場合のみお問い合わせください。

【応募先】〒720-0202福山市鞆町後地7536-1
福山市鞆の浦歴史民俗資料館

☆駐車場は付近の有料駐車場をご利用ください。なるべく公共交通機関をご利用ください。
☆関係者以外は、写真撮影・録音などは禁止です。

福山城築城400年記念事業 福山市鞆の浦歴史民俗資料館 特別展

「沼名前神社～福山藩ゆかりの宝物～」(仮称)

会期/10月14日(金)～12月4日(日)

※休館日/月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日)

- ① 翁の面 福山市重文 沼名前神社蔵
水野勝貞により能舞台とともに沼名前神社へ寄進された逸品。元々は豊臣秀吉の遺愛の面と伝わる。
- ② 豊臣秀吉自筆書状(妻のおね宛)
重要美術品 大阪城天守閣蔵。秀吉が能に夢中となっている様子を記している。
- ③ 阿部正倫の奉納絵馬 沼名前神社蔵



沼名前神社能舞台 鏡板見取図下図
沼名前神社蔵(提供)

※この図は、重要文化財建造物保存修理事業における調査結果を基に作成した復原見取図の下図を、一部加工したものです。